

審議会議事要旨【要点】

会議名	日の出町総合計画等審議会（第1回）	
開催日時	令和7年5月28日（水） 午後2時～午後3時30分	
開催場所	役場3階 第1・2会議室 オンライン併用	
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 町長あいさつ 3 委嘱状の交付 4 自己紹介 5 会長及び副会長の選任 6 会長あいさつ 7 諮 問 8 議 題 <p>（1）日の出町第六次長期総合計画基本構想・基本計画策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会の趣旨説明 資料1 ・第六次長期総合計画の策定状況について 資料2 ・計画の全体構成及び基本構想の検討 資料3 ・今後の策定スケジュールについて 資料2・4 <p>（2）その他</p>	
配布資料	<p>資料1 日の出町総合計画等審議会条例</p> <p>資料2 日の出町第六次長期総合計画策定状況</p> <p>資料3 日の出町第六次長期総合計画の全体構成及び基本構想の検討</p> <p>資料4 日の出町第六次長期総合計画策定スケジュール</p>	
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・諮問書（写し） ・第五次日の出町長期総合計画(後期) 本編、概要版 ・日の出町人口ビジョン及び第二期まち・ひと・しごと総合戦略 本編、概要版 ・第六次日の出町長期総合計画策定方針 ・町民アンケート結果報告書 一般町民及び高校生世代 こどもアンケート（町内の小学校4年生から中学校3年生の児童・生徒） ・親子ワークショップ実施報告書【令和6年10月19日開催】 ・住民ワークショップ実施報告書【令和6年11月16日開催】 	
出席者	委員	<p>神田芳男（会長）、原田輝和（副会長）、伊藤雅夫、宮城政代、神田節子、宮林佳子、馬場由美子、堀江雅明、豊島康雄、込山英俊、服藤伸二、浦明子、羽生英昭、中居久良（敬称略）</p> <p>【WEB出席】</p> <p>五十嵐歩</p>

	事務局	町長、副町長、企画財政課長、企画係職員
議事要旨		
<p>(1) 日の出町第六次長期総合計画基本構想・基本計画策定について</p> <p>①審議会の趣旨説明について</p> <p>事務局より資料1に基づき説明を行った。</p> <p>【質疑・意見】なし。</p> <p>②第六日の出町総合計画策定状況について</p> <p>事務局より資料2に基づき説明を行った。</p> <p>【質疑・意見】</p> <p>委員：小中学生を対象としたアンケートの回答率が低い。どのように実施したのか、また回答率を上げるために今後どのようにするのか。</p> <p>事務局：プリントを作成し、教育委員会・学校長の協力を得て配布した。次回以降は今回の反省を踏まえて実施方法を検討する。</p> <p>委員：アンケートやワークショップで出た意見はどのように構想や計画に反映するのか。また、小中学生を対象としたアンケートの回収率が低いのはもったいない。子供もいろいろな意見を持っているため、意見が反映されるという体験をし、自分たちがまちづくりをするという意識につなげてほしい。</p> <p>事務局：基本計画や施策体系の部分に意見を反映していく。アンケートやワークショップ以外での意見も基本計画や施策の検討の際に勘案していく。</p> <p>委員：町民の声を拾えるさまざまな機会を活用してほしい。</p> <p>③第六日の出町総合計画の全体構成及び基本構想について</p> <p>事務局より資料3に基づき説明を行った。</p> <p>【質疑・意見】</p> <p>委員：(全体構成及び基本構想について) 概ねとてもいいなと思った。基本構想のスローガン「暮らしたくなるまち」は正確性に欠ける。現住民だけでなく、町外からの住民取込を図りたいという意図がわかりにくい。「こどもも大人も暮らしたくなるまち」のように、移住者を呼び込みたいというメッセージを明確にしたほうがよいのではないか。</p> <p>事務局：スローガンが漠然としているという意見を参考に検討を行う。</p> <p>委員：将来人口予測について。推計に使用している出生率が現在の出生率よりも高く、予測が甘いのではないか。人口減少対策や、減少が避けられないのであれば、少ない中で町を維持していく仕組みをどうしていくかが重要なのではないか。</p> <p>事務局：人口推計は、国が自治体に提供している、国勢調査を基にした最新のシートで作成している。直近の出生率は住民基本台帳のデータである。どちらが正しいかということではなく、第五次長期総合計画との継続性の観点から、国のシートを使用しており、多くの自治体でも採用されている推計方法である。また、</p>		

直近の出生率を将来の仮定値として使用すると、その直近のトレンドが強く出すぎる側面もある。危機感を感じており、人口減少をどう克服するかが重要と認識している。

委員：(全体構成及び基本構想について) これをまとめていけばいいという感じは受けた。第五次長期総合計画時から検証や状況の変化も確認しなければいけない。財源確保が重要であり、現状の認識という観点を持ってほしい。

委員：基本構想のスローガンの「みんな」というのは誰なのか範囲が不明確である。住民に加えて企業や専門家、観光客や周辺自治体などどこまでを範囲とするのか明確にしたほうが良い。ほかに「つくろう」「暮らしたくなる」などイメージがしにくい。各個人の自主的な行動も重要ななかで、理解が進まないと各個人の行動に結びつかないと感じる。

事務局：厳密に「みんな」の定義を示してはいないが、「日の出町に関わるすべての方々」をイメージしている。基本計画策定のなかでも委員の皆さんの意見を頂きたい。

委員：スローガンの「みんな」という表現は当たり障りがない分、主体性がなくなる。「あなた」等の表現だと主体性が生まれやすいのではないか。また、計画だけを策定しても実際の行動につながらないと意味がない。学校の授業などとして意見を吸い上げ、反映すれば、その経験が町への愛着心にもつながるのではないか。

事務局：既にアンケートは実施しているが、できるだけ多くの意見を反映したい。今回はわかりやすく、多くの人に手に取ってもらえる計画にしたい。手に取ってもらえれば、自分の意見が反映されたことを感じてもらえるのではないかと考えている。

委員：財政面の課題が出てきていないが、別立てで検討を行っているのか。

事務局：基本計画の体系図に「行革大綱との関連」と記載しており、行政改革の中で財政面にも触れる。

委員：財源を前提にしていると前に進まない。行革大綱が順調であれば財政上問題はないため、行革大綱通りに進んでいるかを確認するべきである。

委員：将来展望に「女性」という表現が出てくるが、既に男女間の差はないと感じている。あえて「女性」と表現することは逆にジェンダーの問題にならないか。

事務局：事実として、男性よりも女性のほうが町外へ流出している中で、女性も住み続けたい町にしたいという意図である。ただし、表現については他の委員からの意見もうかがいたい。

(2) その他

第2回審議会の日程について